

松林地区まちぢから協議会議事録

平成30年度第8回運営委員会

開催日時：平成31年2月22日（金） 19時00分～20時55分
開催場所：松林公民館 第2会議室

協議事項①定期総会に向けて

次回3月22日の運営委員会で広報部会の「平成31年度広報活動事業企画書」の提案を受けて協議する。各部会の総会資料は活動に支障がない場合は早めに提出するよう要請あり。最終提出日は4月7日とする。

まちぢから協議会と自治会連合会の平成31年度総会に向けたそれぞれの会計監査の日程の確認が行われた。

また、4月12日の拡大役員会において新年度の予算を協議するため、各部会長の出席を要請する。

協議事項②「おむすび松林」・「ふくろう塾」の平成31年度事業提案

子供部会長より平成30年12月までの実績報告および収支報告に基づき次年度の事業計画案と収支予算案の説明があった。委員より収支の実績報告と予算案の整合性をとる必要があるとの意見が出た。協議の結果、見直しを行い平成31年度予算案の一部を修正することで合意した。

部会報告①広報部会

12月以降の活動報告を行った。

2月16日に松林地区と湘南地区の、まちぢから協議会広報部会同士の意見交換会を実施した。ホームページの運営方法が異なり参考になる部分があった。

先日実施した松林まちぢから協議会広報部会のアンケートの回答を2000部を回収した。3月中に集計を予定している。

3月下旬に松林タイムス第5号（年度版）を発行する。

来年度から各部会内でホームページの更新が困難な場合は、広報部会が更新を引き受けて実施することを検討する。意見として

更新がスムーズに実施されていな団体もあるので広報部会が前面に出て担当してほしい旨の依頼があった。

部会報告②こども部会

12月～2月の実績（参加人数や改善内容）報告があった。

「ふくろう塾」事業では、現在の3年生はふくろう塾スタート時点から参加したメンバーであり参加生徒の中心となっている。この3年生が卒業することでふくろう塾に参加する生徒の人数が少なくなってしまう恐れがある。対策として地区推進協・保護者会・学校関係者へのPRを検討したい。

小和田地区まち協福祉部会の要請を受けて松林地区まち協子供部会の「おむすび松林」事業について説明会を行い意見交換を行った。次回3月4日のおむすび松林開催日に小和田地区まち協福祉部会の担当者が来て現場視察をすることになった。

部会報告③福祉部会

2018年度の活動報告が行われた。

サロン交流会はグループ分けを実施した結果、活発な意見が出て参考点も多く、とても良い結果が得られたため、来年度もグループ分けを変える等の工夫をして継続する。

市民集会で提案した「高齢者のための新たな交通手段」についても継続して来年度検討することとした。

部会報告④防災部会

2月27日に公民館事業として「小さいお子さん向け家庭の防災対策」の講座が開催されるので地域の方々への参加呼びかけの要請あり。

防災部会では毎月デジタル無線機の交信訓練を実施している。災害時には通信網が制限されることが想定されるためデジタル無線機が有効な通信手段と考えている。できれば今後は、各自治会単位でも交信訓練を実施してほしい。

また、新年度に際し防災担当者や無線担当者などの変更があると思われるので新旧担当者の変更届けを提出するよう要請あり。

その他報告①視察研修について

2月19日、松林まち協の運営委員16名が参加して『ごみの有

料化と戸別収集化』をテーマとして視察研修を実施した。

午前中ゴミの有料化と戸別収集をすでに約 10 年前から実施している藤沢市の北部環境事業所を訪問、午後からは茅ヶ崎市と寒川町が利用している寒川広域リサイクルセンターを訪問した。

藤沢市の北部環境事業所ではゴミの有料化と戸別収集化を実際に担当した藤沢市職員の方から直接説明を受けた。オール藤沢市役所でこの事業に取り組み市民への説明会には担当部長以外の全部長も出席して市民の説得に当たった。何度も何度も説明会を行うことで最初反対していた市民も賛成に回った。また、収集業務を担当する職員も自分たちにとっても有意義な方法であるという強い意識のもとに推進したことがこのゴミの有料化と戸別収集化を成功に導いた原動力となった。その結果ゴミの減量化と資源物を細かく選別する市民の意識改革に成功している。また、焼却灰をアスファルトの原料としてリサイクルする廃棄物ゼロ化の取り組みも始めておりわが茅ヶ崎市が将来やることを検討中の事業を先取りして積極的に進めていた。

藤沢北部環境事業所と寒川リサイクルセンター比較では藤沢のほうが設備の規模は大きいですが、分別してリサイクル品として専門業者に引き渡す形にする業務内容は同じである。現場の作業者の分別作業の苦労は大変なものがあり我々一人ひとりが分別ルールを守ってゴミや資源物を出していく必要性を痛感させられた。

茅ヶ崎でゴミの有料化と戸別収集化を実現するのは相当ハードルが高いと感じたが松林まち協としては引き続き市民集会等でねばり強くゴミの有料化と戸別収集化を要望していく。